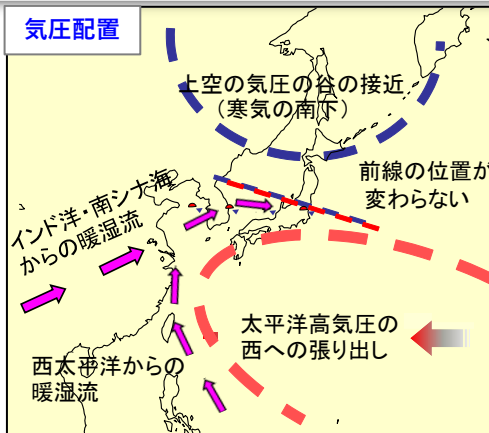
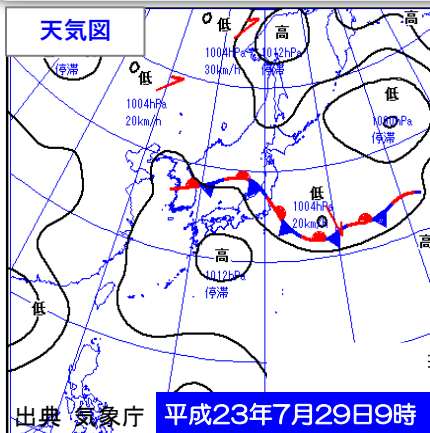


どんなときに大雨になりやすい？

前線の場合

【6月～8月頃】前線 信濃川流域の北側に梅雨前線が停滞するとき



小千谷市にお住まいのみなさまへ

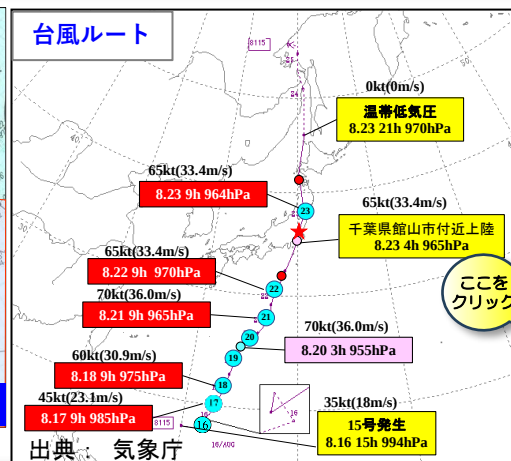
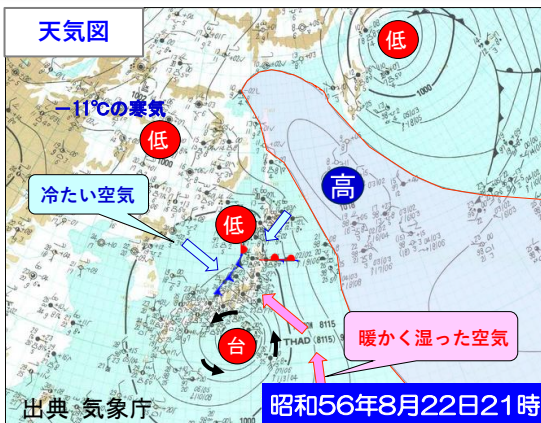
大雨による増水から 早めに身を守るために



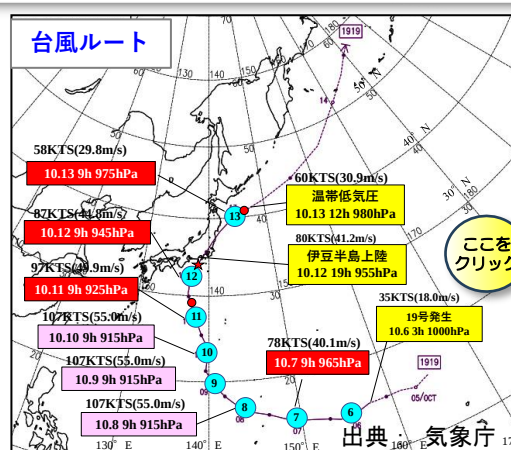
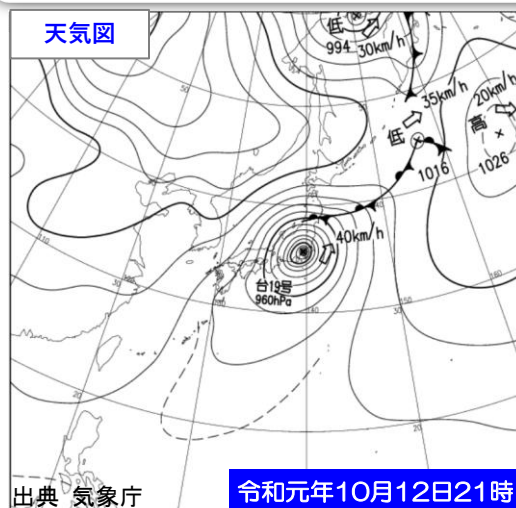
上空から見た信濃川（旭橋付近）

台風の場合

【主に8月下旬～9月】台風 信濃川流域の東側を台風が北上するとき



【主に10月】台風 信濃川流域の東側を台風が北東へ進むとき

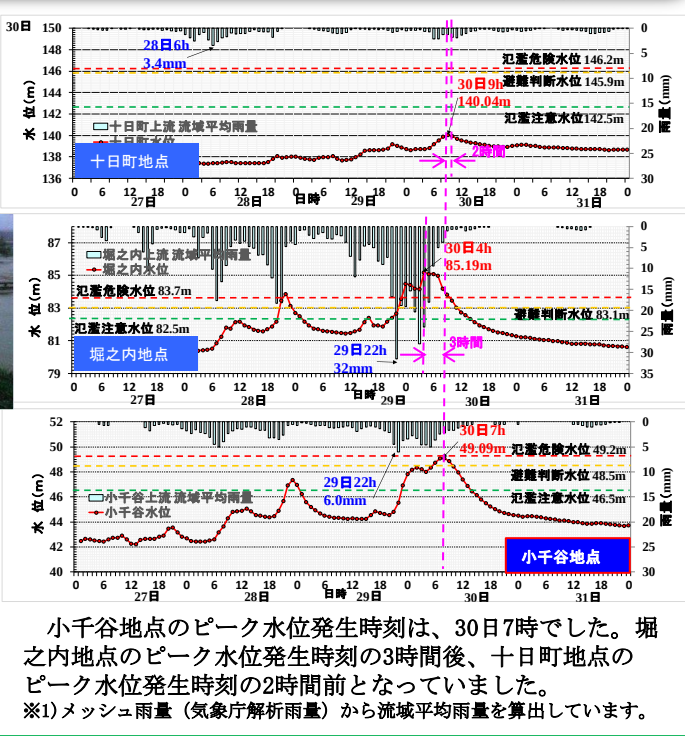
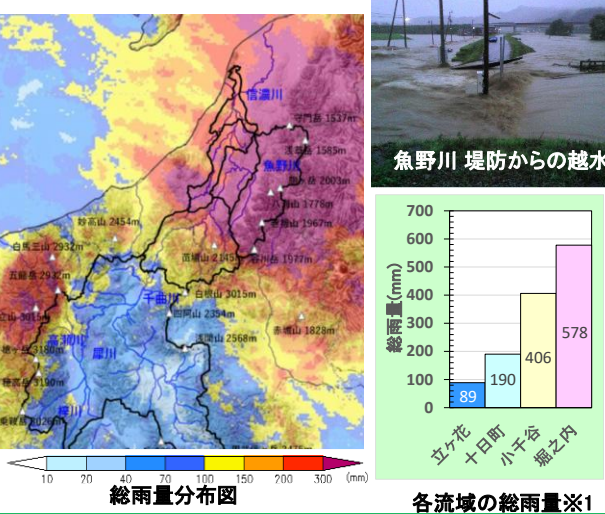


国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

信濃川は、梅雨前線、台風、いずれの気象条件でも大雨により河川の水位が上がります！ さらに今後の気候変動で大雨が増えるおそれもあります！

前線による大雨 平成23年7月 新潟・福島豪雨 信濃川流域に梅雨前線がおよそ4日間も停滞、記録的な大雨となり水位が上昇！

平成23年7月27日未明から30日にかけて、前線が朝鮮半島から北陸地方を通り関東にかけて停滞し、前線に向かって南の暖かい湿った空気と北のオホーツク高気圧から冷たい空気が流れ込み、前線の活動が活発化し積乱雲が発達しやすい状況が長期間継続しました。魚野川流域では、堀之内地点の総雨量（流域平均雨量）が578mmを記録するなど記録的な大雨となりました。



川の水位や雨の量を確認（川の防災情報：各水位観測所のQRコード）

【小千谷】

ここをクリック

水位 42.61m

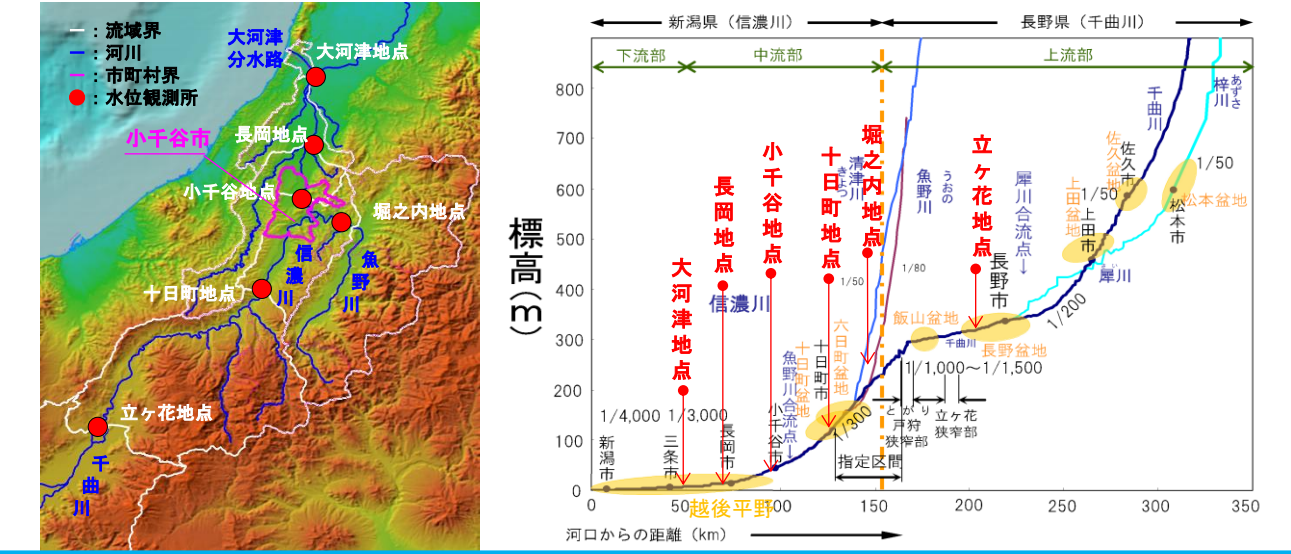
水位標のゼロ点高(EL=0m)

警戒レベル4：氾濫危険水位 49.20m
河川が氾濫するおそれのある水位

警戒レベル3：避難判断水位 48.50m
避難情報発表の目安となる水位

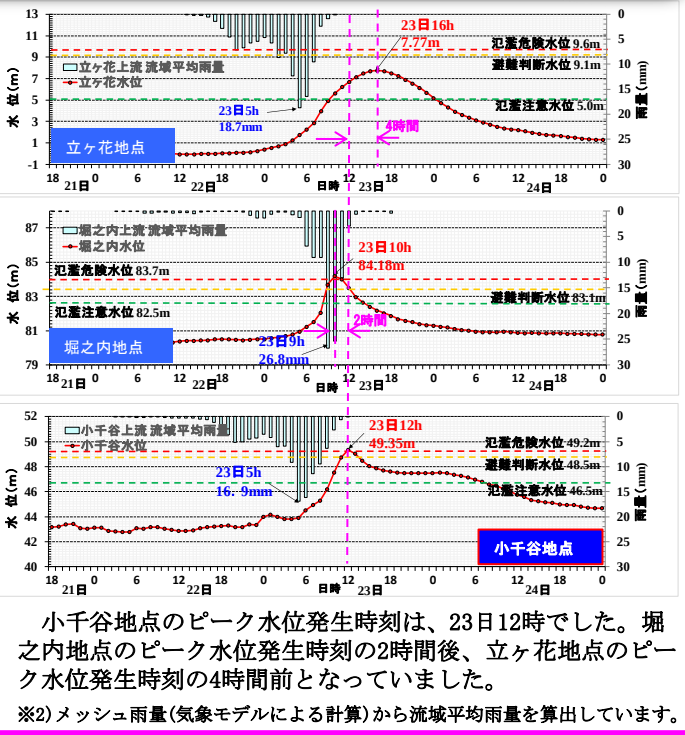
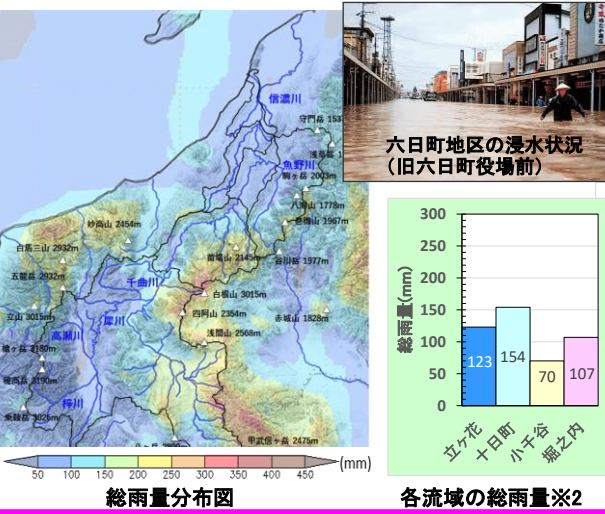
警戒レベル2：氾濫注意水位 46.50m
河川の氾濫の発生を注意する水位

※河川カメラ、時々刻々の河川水位・雨量等が確認できます。



台風による大雨 昭和56年8月 台風15号 8月下旬～9月末 信濃川流域の東側を北上するとき、大雨により水位が上昇！

昭和56年8月16日15時に沖ノ鳥島の西南西約500km海上で発生した台風15号は、8月23日4時過ぎ頃、大型で並の強さの勢力で千葉県館山市付近に上陸し北北東に進み関東、東北地方を通過して23日9時に仙台市に達しました。新潟県内では、上越地方と中越地方の山沿を中心に大雨となりました。魚野川流域では、市街地で浸水被害が発生するなど大きな被害をもたらしました。



台風による大雨 令和元年10月 台風19号 10月に 信濃川流域の南側を北東へ進む時、大雨により水位が上昇！

令和元年10月台風第19号は、南鳥島近海で6日3時発生。その後、高気圧沿いに北に進み、最大風速が60m/s前後に達する「スーパー台風」に匹敵する勢力となりました。12日19時頃「大型で非常に強い勢力」のまま伊豆半島に上陸し、関東甲信から東北を縦断して太平洋に抜けました。長野県内では、千曲川上流、新潟県内では、中越地方で大雨となり、信濃川流域で大きな被害をもたらしました。

